

きん じょう てん か  
**錦上添花**

錦ヶ丘中学校  
学校便り  
10月25日発行 NO.21  
文責 出崎 友英

## 道はつくるもの

山崎直子さんは、もと宇宙飛行士です。  
2010年、NASA(アメリカ航空宇宙局)のスペースシャトル・ディスカバリー号に搭乗し、国際宇宙ステーションのミッションに従事されました。

山崎直子さんがある冊子に書かれた「道はつくるもの、幸せは見つけるもの」という文章から一部を紹介합니다。

人生には決断するとき、進路を決めるときなど、たくさんの節目があり、その都度、私も悩みました。

でも結局、悩んでも答えはないだろうと思うようになりました。人生の選択肢はいずれがいいのか、答えは予め決まっているものではありません。従って、どちらが正解と言うことではなく、どの道を選んだとしても、その道を大切に歩いていくことが大事なのだと思うようになりました。あとから振り返ってそれで良かったと思えるように、努力していくことの方が大切なのだろうと思っています。つまり、答えは自分でつくっていくしかないのだと。

宇宙飛行士の訓練を開始して4年目の2003年に、スペースシャトル・コロンビア号の事故が起きました。

一緒に訓練していた仲間がその事故で犠牲になってしまいました。➤



## 進路学習会がありました。

10月25日(金)の午後、3年生とその保護者の方々に対象に「進路学習会」がありました。中学卒業後の進路選択に向けて、高校入試における具体的な事務手続きのポイントや日頃の生活面と健康面で心がけるべきことなどについて、それぞれ担当の先生方から話をしました。

3年生の皆さん、しっかりと心構えや準備をすることが、夢を叶えるためには絶対に必要です。この会で話された内容をしっかりと受けとめて、よりよい進路選択につなげてください。保護者の皆様、ご参加いただきありがとうございました。



その後スペースシャトルもしばらく飛ばず、宇宙開発もこの先どうなるのだろうと不安になる時期もありました。いろいろと悩むことはありましたが、このまま訓練を続けるにしても、他の道に転向するにしても、結局、どれが正解ということはきっとないと思ったのです。

自分で決めた道をそれで良かったと思えるようにしていくしかない。状況が変わったら、軌道修正していくしかない。人生はその繰り返しなのだと思います。

大切にしている言葉は他にもたくさんあるのですが、最近、すごく肝に銘じていることは「自分一人で石を持ち上げる気持ちがなかったら、二人でも持ち上がらない」というゲーテが伝えたと言われる言葉です。

チームワークはもちろん大切ですし、チームワークなくしては、いろんなことは成し遂げられません。

ただ、それは人に依存するということではなく、自分はそれをやりたいという思いを持っていないと、いくら人が集まっても成し遂げられないのだろうと思います。まずは自分の気持ちをしっかり持って、その上でチームワークができたらいいなと、大切にしている言葉です。  
(月刊「武道」令和5年2月号より抜粋)

3年生は、進路選択がよいよ本番です。

「自分で決めた道をよかったと思えるようにしていくこと。」  
「自分の気持ちをしっかり持って、チームワークができたらいいな。」そんな言葉を心にとめて、がんばっていきましょう。

## ◆お知らせです。

○10月20日(日)、市中学校バレー協会旗大会が開

催され、本校男子バレー部が見事優勝しました。男子バレー部はこの大会、昨年度に続いて2連覇です。

男子バレー部の皆さん、おめでとうございます。



○市教委の「ラブミン人権啓発作品募集」

の「絵・ポスター部門」で1年〇〇〇〇さんが優秀賞、〇〇〇〇さんが、〇〇〇〇さんがそれぞれ入選に選ばれました。3人の作品は、人権週間(12月4日～12月10日)に市役所で展示されるとのことです。3人の皆さん、おめでとうございます。



無理の先にこそ、道は開ける。

「先生のコトバ集」より